



くみあいニュース

2010年度第4号(新春号)
2011年1月11日
島根大学職員組合広報部
内線 2198, ダイヤルイン 32-6407
E-mail union-s@sula0043.soc.shimane-u.ac.jp
<http://sula0043.soc.shimane-u.ac.jp/kumiai/kumiai.html>

2010年度 教研集会(第33回)が開催されました

さる12月10日(金)18時から法文学部棟2階多目的室1を会場に、第33回教職員研究集会が開催されました。「職員満足度の向上を目指して」という統一テーマのもと、さまざまな角度から報告や意見交換があり、有意義な教研集会となりました。なお、出席者は31名でした。

最初に全国大学高専教職員組合副委員長の長山泰秀氏による基調講演がありました。「今後の人勤等への対応 - 全国水準からみた島大 - 」と題し、全国の他大学の状況と比較しながら、島大の現状と組合の対応の在り方について、わかりやすく解説してくださいました。

次に中執調査部から「島大の施設・設備の向上にむけて」と題し、11月末から12月にかけて行なわれた職員アンケート調査の結果が報告されました。

続いて、松江キャンパスの各支部から、次の5件の報告がありました。

- 「誰も知らない教室系技術職員の実情」(職員支部)
- 「総合理工での支部復活への取り組み」(総合理工学部支部)
- 「研修・休暇制度と『働き方の質』 - 法文支部の事例から - 」
(法文支部)
- 「教育学部のサバティカル制度と運用について」(教育支部)
- 「生物資源科学部2010年度の活動」(生物資源科学部支部)

いずれも、島大の抱える問題や現状についての興味深い内容で、各支部が新しい発想で組合活動を盛り上げておられる様子が紹介されました。

(広報 藤井 浩基)



*



教研集会後、組合忘年会を居酒屋「風神」にて開催しました。22名の方のご参加をいただき、例年通り非常に盛り上がりました。幹事は午後10時で失礼しましたが、日付が変わる頃まで盛り上がりおられた方もおられたとか…。多くの方のご参加、ありがとうございました。(文化厚生 須山 弘一)

3月にはレクリエーションとして新酒会を計画中です。お楽しみに!

新年のごあいさつ

書記長 榎原 茂(教育支部)

明けましておめでとうございます。

本学教職員の労働条件改善のためにがんばりますので、本年もどうかよろしくお願いたします、と宣言するにはシニカルすぎる人間でして、「そこそこやっていきたい」というのが正直なところ。私などより余程先鋭的な方が組合員以外にもおられることも最近知ったのですが、多士済々差し置いて書記長の役を務めております。

申し遅れましたが、私、教育支部の榎原といいます。ひょっとしたら歴代書記長の中で最高齢かもしれません。他にもいろいろ「らしくない点」がありますが、そのような人間でも務められることを実証する意義はあるかと思ひながら、半年間取り組んできました。幸いにも板村委員長、三瓶副委員長、伊鹿倉書記次長と、他の三役は有能な方々ですので、センター入試手当や人勸準拠反対の取り組み等で一定の成果が得られたように思います。委員長独特のユーモアがほどよい粘着剤となり、四役のスクラムは案外しっかりしている方かもしれません。

また、昨年末の第33回教研集会におきましては、技術職員の待遇改善、教員の過酷な労働実態、休暇・サバティカル制度の問題点等につきまして各支部・専門部から充実したご報告をいただき、今後の課題を集約するための貴重なデータが得られました。その後の忘年会では、ついシニカルな人間らしからぬ雄叫びをあげてしまいました。今年も、昨年度の要求書未回答への対応、新版の要求書の作成、代償措置の検証など、早速取り組んでいかななくてはなりません。あれっ、結構 書記長らしい台詞が出るようになってきました。組合(というより石橋さん?)の教育力のおかげでしょうか。あと半年間、よろしくお付き合いください。

*

中央執行委員会 活動だより

今年度も中央執行委員会では、団体交渉、緊急声明等さまざまな案件について検討し、準備を重ねてきています。8月から12月までの主な活動をご紹介します。

2010年8月10日	第1回中央執行委員会	2010年11月18日	第1回団体交渉
9月29日	職員部との懇談会	11月19日	第5回(緊急)中央執行委員会
10月14日	第2回中央執行委員会	11月24日	第2回/第3回団体交渉
11月5日	第3回中央執行委員会	12月10日	臨時中央執行委員会
11月16日	第4回中央執行委員会	12月10日	第33回教研集会、忘年会
11月18日	出雲地区の組合員との懇談会		



編集後記

新年明けましておめでとうございます。この年末年始、山陰地方は大変な大雪となりました。

皆様におかれましては、少なからず影響や被害が出たのではないのでしょうか。お見舞い申し上げます。これからが寒さのピークです。体調管理、雪害対策など万全に、冬を乗り切りましょう。